

## 青垣ジュニアバレーボールクラブ 県大会で準優勝！

青垣地域を拠点に活動する青垣ジュニアバレーボールクラブが、11月8日に行われた兵庫県小学生バレーボール選手権大会で準優勝しました。新型コロナウイルス感染拡大のため、近畿大会は中止になりましたが、県大会での準優勝は丹有地区のチームとして初めての快挙です。

キャプテンの足立柚乃さんは「近畿大会に挑戦したかったけど、中止になり残念。これからも目標を立てて練習をがんばりたい」と意気込みました。



青垣ジュニアバレーボールクラブのみなさん

## 世界に誇る伝統の屋根葺き技術を学ぶ 檜皮葺勉強会を開催

11月22日、山南町上久下地区の慧日寺で、檜の皮で屋根を葺く「檜皮葺」の技の見学会と歴史を学ぶ勉強会が開催されました。この会は上久下地域自治協議会が、上久下地区で盛んな檜皮葺について地元の人に知ってもらいたいと企画。伝統的な建物の建築技術が、ユネスコ無形文化遺産に登録見込みであることも伝えられました。

参加者は「このすばらしい檜皮葺の技術を残していくことが大切だと思った」と話しました。



檜皮葺の技術を見学する参加者たち

## 黒井城まつりで 赤井英和さんが武者行列



武者行列を率いる赤井英和さん（馬上）

11月14日、黒井地区自治協議会主催の黒井城まつりが行われ、黒井小学校の生徒による学習発表などのほか、黒井城主赤井悪衛門直正の弟「幸家」の子孫である俳優の赤井英和さんが武者行列や講演会に参加し、祭りを盛り上げました。

学習発表を行った6年生の前田采子さんは「城山にはすごい工夫がされていることが分かった。赤井さんも見られてうれしかった」と話しました。

## 児童・生徒の交通安全ポスターコンクール 丹波市から3人が入賞



受賞したポスターを持つ上畑さん、谷水さん、余田さん（左2人目から順に）

交通安全啓発のために兵庫県で実施された「児童・生徒の交通安全ポスター」審査において、北小4年の谷水勇斗さんが金賞、大路小6年の上畑真和さんが銀賞、前山小3年の余田真鈴さんが銅賞を受賞し、11月28日に賞状の伝達式が行われました。

金賞を受賞した谷水勇斗さんは「あたり運転のニュースを見て、事故をやめてほしいと思った。車が怒っている様子を工夫した」と話しました。

## 人権擁護委員の篠倉敏孝さん 「法務大臣表彰」を受賞

人権擁護委員は、地域住民からの人権相談を受け、問題解決の手伝いや人権に関する啓発活動を行っています。現在23人の委員が活動中で、篠倉敏孝さんが、長年にわたる活動の功績を認められ、法務大臣表彰を受賞されました。

篠倉さんは「受賞は身が引き締まる思いです。人権が尊重されるまちになるよう、今後も微力ながら活動していきたい」と話しました。



表彰状を持つ篠倉さん

## 女性に対する暴力をなくそう パープルリボン運動を実施



市民プラザに飾られたツリーを眺める来館者

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に、シンボルマークであるパープルリボンを装飾したツリーなどを市民プラザに設置し、女性に対する暴力防止を呼びかけました。パープルリボンには「あなたはひとりではないよ」というメッセージが込められています。

来館者は「このような運動があることを初めて知りました。少しでも暴力がなくなるきっかけになればいいと思います」と話しました。

## 農の学校 通信

### 【農業経営について学ぶ 編】

農の学校では、卒業後の就農を見据え、栽培技術のほかに、農業経営の力を身につけるための講座が行われます。11月6日に行われた一般公開講座では、10人の地元の農家も参加して農業経営改善のノウハウについて学び、経営を見直す時間を持つことができました。

ワークショップでは、農の学校の修了生や市内の農家、受講生が班に分かれ、経営課題について意見交換を行いました。集荷場への距離が遠いことや、加工場の稼働率が悪いこと、獣害など様々な課題が示され、これから就農を目指す受講生にとっては、将来を具体的に想定し、準備を行う良い機会になりました。

就農すると、畑の管理などに追われて課題を洗い出すことが後回しになりがちです。講師や先輩農家の意見を聞き、自分なりの経営の道を探ってほしいと思います。



上：課題について意見交換する参加者  
下：公開講座の様子 右：受講生がこの冬栽培したにんじん